



慶應義塾大学ビジネス・スクール

シンセン電池有限公司 (A)

5

会社の概要

沿革

10

シンセン電池は、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池等の2次電池を主に製造する中国企業である。同社は、2001年に中国・広東省シンセン市で設立され、翌年からニッケル水素電池の生産を開始し、2007年には、リチウムイオン電池の生産も開始し、2008年には米国NASDAQに上場するなど、急成長を遂げている企業である。従業員数は約4,000人、生産規模は、ニッケル水素電池で75万個/日、リチウムイオン電池で18万Ah（アンペアアワー）/日を誇っている。同社が製造するニッケル水素電池は、デジタル製品向け、家電製品向け、携帯電話向け、医療設備向けなど、多岐に亘っている（付属資料1）。また、同社が製造するリチウムイオン電池も、小型民生向け、大型産業用と多岐に亘っている（付属資料2）。同社の製品品質は日系企業よりやや劣っているが、コストや納期面では圧倒的な優位性を誇っており、最近では競合の日系企業から顧客を次々と奪いつつある。

15

20

リチウムイオン電池市場

電池には大別して1次電池と2次電池の2種類がある。1次電池とは、放電のみを行うことが可能な電池である。いわゆる使い捨て型で、再利用はできないが安価で利用しやすいという利点がある。1次電池の主な種類としては、安価に製造できるマンガン乾電池、比較的高エネルギーを発するアル

25

本ケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程 M34 期生の杜潔と坂爪 裕教授が共同で作成した。本ケースは、クラス討議の資料として用いるためのもので、経営管理の良否あるいは関係者の判断の適否を示唆するものではない。なお、本ケースは、実在企業のフィールド調査に基づいて執筆されているが、企業名称やケース中に登場する固有名詞は変更されている。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 坂爪 裕（2013年4月作成）